

クラシックバレエ界における「痩せ」の問題についての一考察
A study of a subject about “being too thin” in the classical ballet world

1K10C330 橋口 実可子
主査 中村好男 先生 副査 塩田琴美 先生

【緒言】

クラシックバレエは美を追求する芸術であり、バレエダンサーは外見的に美しくある必要がある。そこでバレエダンサーが「必要以上の痩せ」を求められてしまうという問題が浮かび上がる。バレエダンサーは痩せていなければならないという風潮のために、無理なダイエットやそれによる摂食障害に苦しむダンサーはとても多い。

日本の現代社会において、「過剰な痩せ願望」はバレエダンサーだけが持っているものではない。厚生労働省が平成24年1月に公表した「平成22年国民健康・栄養調査結果の概要」においても、20代女性の痩せの割合が年々増えてきていることが示されている。

社会全体としてのこのような風潮の中でもクラシックバレエの世界における過剰な痩身思考はより深刻であるのだ。バレエをはじめとした「美を追求する」競技において、現代女性の間で存在する「痩せているほど美しい」という風潮は、それらの競技に取り組む女性を極端な痩身思考に追い込み、更には死の危険にまでさらしているのだ。

本研究では、今後のバレエ界が痩せすぎの風潮を改めていくためのきっかけとなるような考察を行うことを目的とする。この研究目的に向けて、著者は「痩身思考の強い一般の青年期男女にとっても、女性バレエダンサーの身体は痩せすぎと認識されているのではないか」という仮説を立てた。この仮説のもと、バレエ界の痩身主義が過剰であることを明らかにし、バレエ界のあるべき姿について考察を進めていく。

【方法】

質問紙を用いた無記名方式のアンケート調査を行った。調査対象はW大学Tキャンパス学生食堂内にてランダムで選び出した52名の大学生男女(男19名:女33名、18歳~23歳)とした。

調査内容は、1. 性別 2. 年齢 3. 女性の身体を美しいと判断する上で重視する要素 4. 女性に対して美しいイメージがあるスポーツ、芸術活動 5. 4の選択理由 6. 理想体型の女性有名人 7. 女性バレエダンサーの身体に対する美のイメージ 8. 女性バレエダンサーの痩せに対するイメージ 9. ダンサーAに対する痩せの評価 10. ダンサーBに対する痩せの評価 11. ダンサーCに対する痩せの評価 12. ダンサーDに対する痩せの評価 13. ダンサーEに対する痩せの

評価 14. バレエ経験の有無 の14項目を用意した。

【結果】

質問項目3において、女性の身体を美しいと判断する基準を「脚の綺麗さ」と回答した者が最も多く、「痩せ具合」を選択した者は全体の9.52%と4番目に多い結果となった。また質問項目4においては、取り組む女性に対して美しいイメージがある活動として「バレエ」を選んだ者が最も多く、その選択理由としては「細いから」と回答した者が最も多かった。

質問項目7において、女性バレエダンサーの身体に対する美的イメージについては「とてもある」と回答した者が最も多く全体の73.08%を占めた。一方で質問項目8においては、女性バレエダンサーの痩せに対するイメージについて「少し痩せすぎである」と回答した者が全体の46.15%と最も多く、「とても痩せすぎである」と回答した者と合わせると全体の6割近くを占める結果となった。なお、5名のバレエダンサーの体型について実際に評価させた結果、5名中3名のダンサーに対する回答において「理想的である」を選択した者の割合が最も多くなった。

【考察】

本研究全体を通して、男女共に痩せに対するこだわりや美のイメージが強いこと、またバレエダンサーに対して痩せすぎという印象を抱いている人が多いことが明らかになったが、実際にはそのように「痩せすぎている」と感じるバレエダンサーを「美しい、理想的である」と評価した者の割合も多く、バレエ界の中だけに潜む「過剰な痩身思考」を明らかにする結果とはならなかった。むしろ社会全般が過剰な痩身思考にあふれ、バレエダンサーのような過剰な痩せが一般にも受け入れられてしまっている傾向があると推測できる結果となり、バレエ界の痩せの問題を改めていく上で、バレエ界外の社会全般ともリンクさせて改善の道を探さなければならないと感じられた。

バレエダンサーは「美を追求する存在」であるのなら世の中の美を代表する存在であるともいえ、バレエ界の痩せが世の中に与える影響に対しても責任を持つべきではないかと考える。そこでバレエ界側から社会全体の痩せの問題を食い止め、健康的な美のスタイルを発信していくことこそが、芸術としてのバレエの使命なのではないだろうか。